

KATATSUMURI支援プログラム(児童発達支援)

houkagotoudeisa-bisu

事業所名 KATATSUMURI

作成年月日 2024年4月1日

営業時間 通常 11:00~18:00 土・祝日・長期休日 8:00~17:00

送迎実施 あり

法人理念

- ・『**じぶんらしさ**』音楽活動・絵画活動を通じ、子どもの自発性や個性を育て「表現者」として自信を育む支援を行います。
(ピアノやリトミック、お絵描きなど)
- ・『**社会で生きる力**』社会で生きていくために、カードや遊びを通したソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、社会性を育みます。
- ・『**好き!**』『**できた!**』豊富な専門知識と経験を持つスタッフとともに、「興味」「関心」を見つけ、子どもの個性・特性に応じた支援をし、心身の発達を高める学習支援を行います。
- ・『**保護者様サポート**』相談や学習会を通じて、ともに子どもたちの成長を支えていきます。

支援方針

- ・KATATSUMURIを利用し、数々の療育を体験しながら、人とふれあい様々な活動を通して心身の成長発達を促します。
- ・成長していく過程で、子どもたちに「自立スキル」と「ソーシャルスキル」が身につけていけるよう、療育としての支援を行います。
- ・家族療育負担(子育てへの不安解消)を軽減し、休日等は安心して過ごせる場の提供を行います。

本人支援の内容と5領域の関連性

○健康・生活

- ・お友だちと一緒に料理やお菓子作りを楽しみながら「食」に興味を持ち、健全な食生活をできるよう支援します。
- ・KATATSUMURIの日々のスケジュールをルーティン化し、時間に応じた切り替えが自身でできるよう支援します。

○運動・感覚

- ・キッズヨガや体幹トレーニングを通して、姿勢や動作の基本的技能の向上を支援し、「心とからだを大切にできる力」を学びます。
- ・トランポリンやボール等を使って、筋力の維持・強化を図る支援をします。
- ・長期休暇や土曜日、支援時間が多い時には公園等に行き運動発達を促します。

○認知・行動

- ・お絵描きでは視覚や色の違い等の習得を支援し、また、感性を育て、心の安定を支援します。
- ・ピアノでは聴覚・触覚等の感覚を十分に活用して、認知機能の発達を促すよう支援します。
- ・お絵描きやピアノでは指先のトレーニングで脳の発達を促す支援をします。
- ・リトミックでは人格を形成する3要素「心(マインド)」 「力(パワー)」 「性(キャラクター)」を取り入れ、これらを通し、豊かで可能性あふれる人格形成と子どもたちの様々な能力の発達を促します。
- ・プログラミングでは空間・時間・数等の概念形成の習得、倫理的思考力をつける支援をします。
- ・料理では「ワーキングメモリー」と「手先の細かい作業」のトレーニングを支援します。

○言語・コミュニケーション

- ・遊びを通して、共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援をします。
- ・環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援します。
- ・本人の特性に応じた、読み書き能力の向上のための支援をします。

○人間関係・社会性

- ・お友だちとの信頼関係を築きながら、安定した関係を形成するための支援をします。
- ・本人の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるよう支援します。

家族支援

- ・保護者が心配の無いよう、ラインや連絡ノートで利用中の様子を伝えます。
- ・年2回の保護者との面談でお家での様子やKATATSUMURIでの様子を共有し支援します。
- ・学校や家庭での様子の相談に応じ、その子にあった解決策を考えます。(兄弟姉妹の相談も含む)

移行支援

- ・年2回の学校との面談では、学校での様子とKATATSUMURIでの様子を共有し、支援を続けます。
- ・学校への送迎時は教員との事務連絡や今日の出来事などを共有し、支援をします。

地域支援・地域連携の内容

- ・SSピンポンでは地域の障がい者との交流を楽しみます。
- ・課外療育では、施設以外の児童や地域の人たちとの交流を楽しみます。

職員の質の向上の取り組み

- ・毎月1回～2回スタッフ会議・研修会を行っています。
- ・「理念の共有」や「スタッフ同士の総合理解」、「スタッフ個々の経験の尊重」を重要視した職場づくりに努めています。
- ・OJTや外部研修の参加の取り組みに努めています。

主な行事等

- ・クリスマスや年始などの季節に応じた行事を楽しみます。
- ・毎月の料理やドルチェ作りでは「食育」を考え、季節の工作では作品作りを楽しみます。
- ・長期休日では課外活動（課外療育）でいろんな場所に出かけ楽しめます。
- ・年に6回程度の「科学で遊ぼう」では、楽しく科学を学びます。
- ・年に1～2回、子どもたちが自分の意見を発言できる「こども会議」を実施しています。